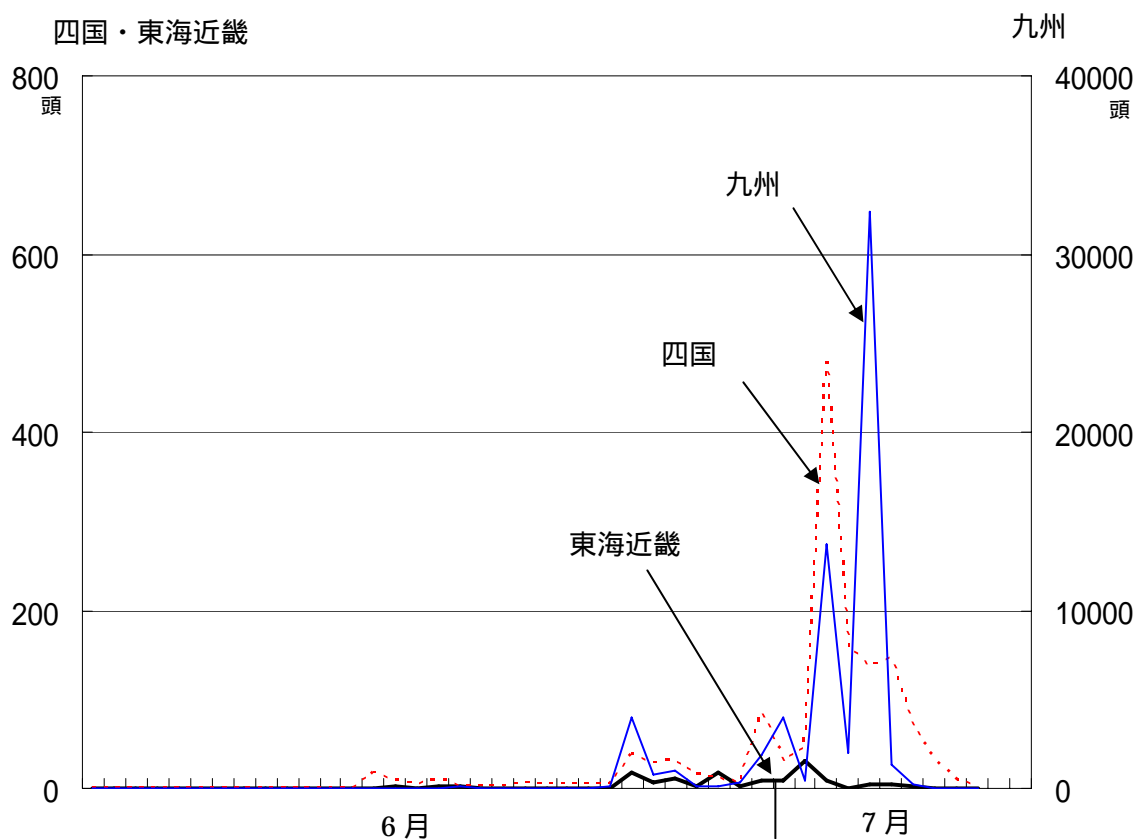


病害虫防除技術情報第 6 号

平成18年 7月21日
三重県病害虫防除所

- 1 対象作物:水稲
- 2 対象病害虫:セジロウンカ
- 3 発生時期:7月～8月
- 4 発生状況

九州地方において6月下旬から7月上旬にかけて顕著な多飛来が認められ、四国地方においても平年以上の多飛来が見られました(第1図)。このような年は西日本全体でセジロウンカが多発する傾向があります。



第1図 2006年セジロウンカの飛来状況
各地域毎の1日1ヶ所当たり最大誘殺数を示した数値

県予察灯では、6月下旬～7月上旬に御浜町において27頭の飛来が見られました。この数値は、多発した年の数値に近いものです。他の地域の予察灯では松阪市が2頭、紀北町が4頭、伊賀市が0頭であり、これらは平年並かそれ以下の状況です。

7月中旬における県下の巡回調査では、第1表のように紀州地区での発生がとびぬけて多く、伊勢地区、志摩地区でも目立ちました。それより北の地域ではむしろ平年並かそれ以下

の状況です。

表1 セジロウンカの発生状況(7月中旬)

調査地区	調査圃場数(筆)	発生圃場率(%)	25株当たりたたき落とし虫数(頭)
桑名	44	4.5	3.8
四日市	40	2.5	2.5
鈴鹿	40	2.5	2.5
津	60	3.3	3.8
松阪	56	8.9	3.0
伊勢	40	20.0	3.9
志摩	12	16.7	8.8
伊賀	48	2.1	2.5
紀州	20	70.0	20.7

以上のことを勘案すると、三重県の南部を中心として、6月下旬～7月上旬にセジロウンカのまとまった飛来があったものと思われます。

飛来数の規模は不明ですが、多飛来のあった圃場では7月末から8月上中旬にかけて坪枯れ症状が出る可能性があります。一般的に、被害は局地的に発生します。

5 防除対策

- (1) 県南部(特に紀州地域)では個々の圃場を見回り、多発生していないかを確認してください。
- (2) 坪枯れ症状に至る被害は、7月末以降に現れると思われます。発生圃場ではそれまでに防除する必要があります。